

SANRIKU YSTER FESTIVAL

三陸オイスターフェスティバル 2013 in 石巻
フォトブック

オープニング～開会式



三陸オイスターフェスティバル

2013年10月13日

石巻サン・ファン・パウティスタパーク



2013年10月13日、青空がまぶしいほどの秋晴れに恵まれて第1回三陸オイスターフェスティバルが開催されました！

開場時刻前から大勢のご来場者様にお越しいただき、オープニングの時にはすでにたくさんのお客様でいっぱいとなりました。会場のある宮城県石巻は、400年前に伊達政宗の命を受けて慶長使節船が出帆した地です。慶長の大震災からさらに前を向いて海外へと目指した当時の人々のように、私達も「震災前よりもさらに良くなる復興」を目指します。

(左 上 開会挨拶 実行委員長 齋藤浩昭)



オープニングを飾ってくださった「渡波獅子風流保存会」の皆さん。
宮城県石巻市渡波地区の獅子舞は、正月に各戸をまわる縁起のよい踊りで鎌倉時代に発祥したそうです。石巻市無形民俗文化財に指定されています。
震災で獅子頭が流され、稽古場の確保にも大変苦勞をされていたそうですが、全国の皆様からご支援をいただき、復活して活動を再開されました。全国の皆様への感謝と地元を勇気づけたいとチカラ強い太鼓と明るいお囃子にあわせて舞い跳ねる獅子の姿に会場からもたくさんの拍手・声援をいただきました。

牡蠣早剥き選手権



地元三陸の牡蠣の生産者やオイスターファンなど、エントリーした選手はプロフェッショナルな方ばかり。晴天の下、早剥き選手権はスタートしました。「浜代表だからさ、負けられねえべや」と皆さん闘志を燃やされ白熱した試合に、応援にもチカラが入りました。





おめでとうございます！

第1回SOF 牡蠣早剥き選手権 結果

- | | | | |
|-----|---------|-------|----------|
| 第1位 | 大久保幸夫さん | 4分35秒 | 【岩手県宮古】 |
| 第2位 | 鈴木 甲泰さん | 4分43秒 | 【宮城県気仙沼】 |
| 第3位 | 菅野 一代さん | 4分52秒 | 【宮城県気仙沼】 |
| 第4位 | 佐々木輝英さん | 4分56秒 | 【岩手県宮古】 |

牡蠣早剥き選手権は、その名の通りに殻付牡蠣をいかに早く剥くかを競いますが、スピードだけではなく「剥き終わった牡蠣の美しさ」も審査の対象となります。

30個の殻付牡蠣を次から次へとおよそ5分ほどで剥いてしまいます。

選手の皆さんの手さばきに「早い」「鮮やか！」「信じられないスピードですね」と、観覧しているお客様からは感嘆の声が上がっていました。



ステージイベント①



女川潮騒太鼓 轟会

平成5年に結成、今年20周年を迎える轟会では地域に根付いた活動や小中学校への太鼓指導を行い地域活性化を目指しています。東日本大震災から2年半。皆様への感謝の想いを胸に、少しでも地域の復興に役立てるよう、そして港町女川に活気を呼び込めるよう努力しています。



石巻好文館高校 応援同好会チアリーディング ピーナッツ

応援団として運動部の応援をする一方で、チアリーディングチーム「ピーナッツ」として様々なイベント活動に参加して地域を笑顔にしています。この日も牡蠣剥き選手の皆さんをはちきれそうな笑顔で応援、盛り上げてくれました。





熊谷 育美（宮城県気仙沼生まれ、在住のシンガーソングライター）

地元気仙沼で東日本大震災に遭われた熊谷さん。震災前日の10日に完成していた「雲の遥か」を聴いた被災地を始め全国の皆さんから寄せられた「この歌は自分たちの応援歌であり心のよりどころです」という言葉が彼女を奮い立たせたそうです。震災後、NHK復興支援ソング「花は咲く」にも参加ほか、被災地の復興支援イベント等に多く出演し地元を応援し続けています。この日も「雲の遥か」「グッバイ マイラブ」等を唄い、その伸びやかで力強い歌声が、会場のお客様を笑顔にしていました。



未國（謡と舞踊のパフォーマンスカンパニー）

未國<ミクニ>は、日本の全ての芸能の起源は、- 祭り - にあると考え、民謡、神楽、猿楽など、今もなお継承され続けている日本の伝統芸能や「祭り」を創造の源泉としたパフォーマンスを活動されています。震災の後、被災した沿岸部をテーマにした舞台「いのちてんでんこ」は海外でも高い評価を受けています。

新国立劇場バレエ団ソリストを務め、現在は振付家としても活躍中の前田新奈さんの迫力ある舞踏と、まるで生きているかのように舞う人形、そして、前川十之朗さんの朗々と唄う謡から醸し出される空気が会場を魅了し、素晴らしいステージとなりました。



ステージイベント②



YUM (シンガーソングライター)

この日ステージの司会を引き受けてくださっていたYUMさんが特別出演してくださいました。神戸出身のYUMさんは自身も阪神淡路大震災を経験しており、東日本大震災の後、被災地のために自分にできることは、と「三陸牡蠣復興支援プロジェクト」にチャリティソングを提供しています。そのチャリティソングの中から「虹」を唄い、ハイトーンの明るい歌声が石巻の空に響いていました。



シオ (石巻在住シンガーソングライター)

ステージの最後を飾ってくれたのは、地元石巻の牡鹿半島小積浜出身のシオさん。音楽を通して、いろいろな人と、生きる力を共有したいと自らも被災している中で、震災後も精力的に音楽活動を行っています。

シオさんの熱い歌声とラストの楽曲「友へ」の「今日が新たな始まりだから♪」のフレーズが会場の皆さんを勇気づけてくれました。

♪イベント日程♪

- 10:00 オープニング「渡波獅子風流保存会」 開会式
- 10:45 和太鼓「女川潮騒太鼓 轟会」
- 11:15 チアリーディング「ピーナッツ」
- 11:30 かき早剥き選手権 予選
- 13:00 熊谷育美 スペシャルライブ
- 13:45 かき早剥き選手権<！敗者復活戦！>
- 14:00 未國<ミクニ>
- 14:30 かき早剥き選手権 決勝戦
- 14:45 シオ アコースティックライブ
- 15:00 かき早剥き選手権 審査発表 表彰式 閉会式

会場～キッズコーナー



1分間で何個積めるかな？
せっかく積んだ殻がくずれな
いように、そっとそっと慎重
に積み重ねます。
真剣な表情ですね。



ご来場の皆さんに書いていた
だきました。暖かいメッセー
ジをありがとうございます！



スーパーボールすくいや、
牡蠣殻で作るキャンドル等
みんな楽しく遊んでま～す。



「牡蠣の殻つみ競争」の入賞者です。石巻市ご当地キャラの
いしぴょんずと記念撮影です。おめでとう！

会場～試食コーナー

早剥き選手権で剥いた牡蠣は、その場で調理してご来場の皆様にふるまわれました。
左から、ピリ辛甜麺醬炒め、 香草パン粉のカリカリ焼き、牡蠣のクリームシチューです。



会場～旨いもん市





オイスターフェスティバルと言えば、もちろん「牡蠣」がなければはじまらない！岩手県宮古・山田湾・広田湾、宮城県唐桑雄勝・牡鹿半島・石巻渡波など各地の自慢の牡蠣が一堂に会しました。焼きカキや蒸しカキ、カキ汁、カキの焼きそば等々とメニューもいろいろあって迷ってしまうほどです。

会場には美味しい香りが朝早くから漂い、早々に完売するブースもあり、お客様もたくさんの牡蠣を食べ比べしてお楽しみいただいていた様子でした。



主催

三陸オイスターフェスティバル実行委員会
(慶長遣欧使節出帆400年記念事業 協賛事業)

後援

宮城県 石巻市 アイルランド大使館 世界かき学会
社団法人石巻観光協会 宮城県漁業協同組合 石巻かきブランド化委員会
特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパン
仙台放送 KHB 東日本放送 ミヤギテレビ TBC 東北放送 株式会社エフエム仙台

協賛

サッポロビール 特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパン
株式会社ヤマナカ アイリッシュ・ネットワーク・ジャパン三重支部

協力

公益財団法人慶長遣欧使節船協会 (サン・ファン館)
イオンスーパーセンター石巻東店
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

三陸オイスターフェスティバル 2013 in 石巻 フォトブック

2013年11月20日発行

編集・発行 三陸オイスターフェスティバル実行委員会

宮城県仙台市若林区卸町2丁目2番1号

株式会社アイリンク内

電話 022-253-7330

URL <http://sanrikuoysterfestival.com/>